

2026 年 10 月 9 日

各 位

J X 金属株式会社
タツタ電線株式会社

AI データセンター市場の拡大に伴い需要が増大する漏水検知システムの生産能力増強について

J X 金属株式会社（社長：林 陽一、以下「J X 金属」）のグループ会社であるタツタ電線株式会社（社長：飯田 一彦、以下「タツタ電線」）は、設備投資を行い、京都工場（京都府福知山市）において AI データセンター等に使用される漏水検知システムの生産能力を増強します。段階的に設備増強を進め、2027 年 9 月までに生産能力を 2026 年末比で約 2.5 倍に引き上げる予定です。

タツタ電線のセンサー事業では、長年にわたり電線・ケーブル事業で培ってきた材料技術、設計技術および製造技術を活かし、漏水検知システムを製造・販売しています。同製品については、タツタテクニカルセンター（京都府木津川市）において営業・研究開発を推進し、京都工場で製造を行っています。

近年、生成 AI の急速な普及やデジタル化の進展を背景として、AI データセンターの建設が世界的に拡大しています。AI データセンターでは高性能 GPU を大量搭載したサーバーの稼働に伴い発熱量が増大し、従来の空冷方式だけでは十分な冷却が難しいケースが増えています。このため、データセンター建屋やサーバーで水冷設備を活用した冷却技術の導入が拡大しています。これに伴い、施設内における漏水リスクへの対策がこれまで以上に重要となっており、漏水を早期に検知するニーズが急激に高まっています。

タツタ電線は、この需要拡大に対応するため、2026 年 8 月(※1)に漏水検知システムの生産能力増強を発表しましたが、需要が想定を上回る水準で推移していることから、安定供給体制を一層強化すべく、京都工場においてさらなる生産能力の増強を実施することとしました。また、今後のさらなる投資も検討しております。

J X 金属グループでは、AI データセンターの発展に不可欠な先端材料として、主力製品である半導体用スパッタリングターゲットやインジウムリン基板のみならず、漏水検知システムをはじめとした各種製品を幅広く取り揃えております。今後も市場や顧客ニーズの変化を的確に捉えながら、必要な投資を継続し、高付加価値製品の供給を通じて社会の発展に貢献してまいります。

以 上



漏水検知システム

<参考>

※1 [2026 年 8 月 5 日付プレスリリース「AI データセンター市場の拡大に伴い需要が増大する漏水検知システムの生産能力増強について | 2026 年度 | J X金属」](#)